



No.9. 2022. 11. 30

ぴっぴの暮らしには、毎日移ろう自然にどっぷり溶け込んでいる子ども達の自然体な顔があり、無数の動きがあります。暮らしの中での遊び（学び）が育ちにつながっていることを目の当たりにする感覚はとても心地よく安心感を抱きます。それと同時に、そこに居合せた私はどう学び（遊び）を支えるのか、ぴっぴの森で共に生きるものとして葛藤をいつも持つことになるのです。

小学生の活動「ぼろぴっぴ」のある日、秋も深まり紅葉が光る日のことでした。小4女子の三人組に「川に行こう」と誘われました。魚を捕る気満々で自分たちで網を用意して水筒などの荷造りをして「さあ、行くよ！！」とやってきました。でも足元をみると普段の運動靴。（あれ?!川の中には入らないの?）なんて思いながら、「わたしは、長靴に履き替えるからちょっと待っていてね。」と言っても、彼女たちは「はやくねー！」と言うだけで気持ちが変わる気配はなし。本人たちはそれでいいようなので私だけ長靴になり、彼女たちはそのまま出発しました。おしゃべりしながら目的の川に到着すると青い空の下にある紅葉した木々は、川面にも鏡写しに広がり、それはそれは美しく「きれ〜い！！」と一齐に声が響き渡りました。水辺まで行き、魚を探すのかと思いきや魚を捕るのは向こう岸に渡ってからと誰からともなく出た考えに三人一致で歩き出しました。長靴で来た私にとっては容易いことですが、運動靴で来た三人の子ども達はそうはいきません。運動靴で来たが故のドラマが待っていました。川に落ちないように三人三様に、行く道を模索しはじめました。

ちょっと先に行くAちゃんは割と思い切りがよく、大丈夫かな?!と思わせるような次の岩を見ても決断が早くどんどん跳びつき進んでいきます。見ていると気持ちがいいくらいに「一か八か」のようなところもあるので、ある時に足をかけた岩に裏切られた形で片足が川の中にジャボンと落ちました。周りの心配の声が「大丈夫?」と飛びましたが明るい声で「大丈夫、大丈夫〜へいきへいき〜」と気持ちがいいくらいにあっけらかんと応えました。Hちゃんは跳び移る決心をするまでに時間が必要ですが、それを楽しんでいるように見えます。行ったり戻ったりを繰り返しながら次の石を探して気持ちが決まると忍者のようにヒラリと軽やかに次の石に移っていきます。友達へのさりげない言葉かけは、相手を焦らせることもなく、持ち前の優しさが伝わります。そんな中、Aちゃんが川に足を滑らせたのを見た後、「靴を濡らしたらママに怒られる〜!だから絶対にぬらさな〜い!」と急に叫んでいるのです。私は「靴が濡れたくらいじゃママはおこらないでしょ〜」と笑ったら、「だって今日の朝もママに怒られちゃって大変だったんだから…」と、なるほど朝の出来事を子どもなりに気にしての叫びだったので

すね。そんなプレッシャーも無意識に遊びに変えることができよかったです。靴を無事に守れたことで少しは消化できたかな。ゆっくりゆっくり前進しているSちゃんは、行くことをあきらめたり弱音は吐かないけど、とても慎重派。まさに石橋をたたいて渡っているかのように、足を置こうか置くまいか足を出したり引っ込めたりしています。それを見守る二人はSちゃんの前で石に足をのせ「ほら、ここは大丈夫だよ」などと声をかけてSちゃんが自ら踏み出す一步を待っています。そして深かそうで広い場所を渡るときが山場でした。AちゃんとHちゃんが戻ってきて、三人が知恵を出し合いました。向こう岸に渡るまでにかかった1時間はあっというまに感じて、川を越えた時間がとても気持ちのいいことだったと子ども達の顔を見て思いました。長靴で来ていたらこんな冒険はなかっただろうと思うと「余計なお世話」をしなくてよかったです、なんだか得した気分になりました。もちろん子ども達は、そのあと水際の茂みや石の下に網を入れてゆすり魚を探ることも忘れずに川を後にしました。

帰り道を歩いている時、Sちゃんが私に「たいそうも、ピアノも、勉強も、なにやっても上手くできないんだよ…」と死にたいほどだと自分を卑下する話をはじめました。(たいそうも、ピアノも、勉強も、できないイメージないなあ…)と思いながら「嫌い？」と聞くと「嫌いじゃない」と答えてくれます。どんな言葉をかけたらいいか…、自分の中にも思い当たる節があり、「そういう気持ちわかる気がする…わたしもさ、歌だけはダメなんだよ…きれいな声じゃないだろうとか、音がずれちゃうかもなって、上手にできないって思っちゃってすごくドキドキしちゃうの。Sちゃんの歌聞くと楽しそうだし、上手だし、素敵だなんて思うんだよね…私もできたらいいなって思うけど、そんな風にできないから、うらやましいよ。」「このうた～？」と堂々と歌を披露してくれます。Sちゃんはこっちを向いて笑顔を返してくれました。本当は(上手くじゃなくてもいいんじゃない?! なかなか思い通りにいかない自分も認めてあげればいいんじゃない?!)と思いながらも、新しいことにトライしてできるようになりたいって思えたり、できることが広がったりすることは楽しいことだと思うのです。そこに、あきらめずに夢に向かう気持ちを応援したいと思うのです。

…運よく自分の「好き」を見つけ、夢の幼児体育の仕事に運よく就けた私は、入社初日の社長講話で「自己実現」という言葉に出会いました。それ以来「私の自己実現って何だろう？」といつも心のどこかにあります。そして今、ぴっぴの子ども達に繋がることができ体育を学び続けている暮らしはとても幸せなことだと予想を超える繋がり感謝しています。最近読んだ小説に今の私に響いた台詞がありました。「望み通り想定したままのことを手に入れたとしてもそれだけじゃ夢が叶ったとはいえないんだよ。自分の予想を超えた展開になって、それをちゃんとモノにしていくというのが本当に夢を実現するっていうことなんじゃないかな。」と。10日間家におこもりして無性に外で遊びたい自分を感じる今日この頃、とにかく外で遊ぶのが大好きだった幼い頃と何も変わっていない…改めて、ぴっぴの子ども達との暮らしに夢をもって楽しみたいと心から思っています。モノになるよう、日々の葛藤もおそれずに…

： 恵理

木 森林のいきもの子育てばなし 12月

今月は
ヤドリギの
お話です



ヤドリギ (籬木)

12月24日の誕生木

寿命は30年ほどと長く、薬用として使われることも

クリスマスにまつわる木としていつもの神話があります。

子どもを悪い存在から守ってくれるという言い伝えもあり、クリスマスに飾ったりして楽しむことも多いようです。



冬枯れの森を見上げると、真青な空、そして霜でキラキラと輝く木の枝をよく見ると、何か丸いものがいくつも...

葉が落ちきたはずなのに、そこだけ緑色。近づいてみると黄色、オレンジ色の小さな丸い実もみえます。これはヤドリギ

「籬木」と書く寄生植物。といっても、どうやってヤドリギは、高い木の上で育つことができるのでしょう。

それは、鳥たちのおかげ。特にレンジャフという鳥は、ヤドリギが大好物。そして食べると鳥たちは糞をしますが、なんとびっくり、ヤドリギの実には粘り気があるの

ですが、糞になってもねばねばびろーんと伸びて、固い種は守られ、途中の幹や枝にはりつく仕組みに!!

そして種はやがて枝や幹にくっついて根をいり、成長していくのです。ヤドリギの子育ては鳥に助けをもらい

そして他の木に宿ることによって行っているんですね。

いろんな生き物が関わり合って命が育っていくのだなあ...とヤドリギをみつけると想うのでした。
：菜々虎



《 12 月のお知らせ 》

この秋もいろいろな色を染めました。子どもたちが拾ってきた枯れた栗の葉っぱも、毛糸が柔らかな茶系に染まりました。リスたちが食べた跡の「エビフライ」は薄ピンクがかかった優しい茶系です。新米まつり前日、小豆を煮ていましたら、何人かの子どもたちがお鍋の中を見ながら「何色になるだろうね」中澤「餡子を煮ています…」(笑)

自然のもので染めた毛糸はどんな組み合わせをしても美しい。その毛糸で織る織物コーナーは、特に秋～冬は賑わいます。確実にきれいに織れるおおくりたちはちょっと織っては、サッカー・けいどろ・鬼ごっこ…で走り回り、集団遊びも一人での時間も創り出す在り方がみごとです。失敗を繰り返しながら、確実に織れるようになってきたくりたち。何かよくわからないけれどやってみようとするまつぼっくりたち。失敗の繰り返しにあきらめてしまう人たちと、根気よく続ける人たちに分かれます。「無理しなくていいよ」「くりさんになったら、きっとできるよ」を伝えます。背伸びしないこと、自分の力量を感じることも大切な日々の学びです。全くわからないけれど、「〇〇もやる～!」と何人かのどんぐりたち。大きい人たちに「まつぼっくりになったらね」「大きくなったらね」と言われ、素直に違う工作を始めています。本当に面白いと思える「時」を大切にしたいと思います。

先日、ひょんなことから「突然の音楽会」が始まりました。小林真之介さん(禅くんの父)のお知り合いの方がトランペットを持って来て下さったのです。スズを鳴らすと、歌好きのびっぴの子どもたちはすぐに集まってきました。「びっぼろびっぴ」「カントリーロード」「さんぽ」…みんなで楽しみ、面白い刺激的な豊かな時間になりました。真之介さん、ありがとうございました。

一年間の田んぼ作業のご協力をありがとうございました。新米まつりでもたくさんのお働きをありがとうございました。今年はびっぴの田んぼ始めて以来の豊作だったそうです。今年もふるさと納税などのご寄付などを下さった皆さまには、心ばかりの新米をお渡しできました。

「実りの秋」からいよいよ「クリスマス」の準備に入っていきます。森中を飾ったり、クリスマス絵本・歌、おうちの人に内緒の作業も始まります。「小さなクリスマスの集い」を楽しみにお待ちくださいね。

：中澤真弓

●『夢みる小学校』上映会のご案内を再度いたします。予約締切りは、12/10 です。

日時 12月17日(土) ①10時～ぼろびっぴ児童(申し込み不要)

②14時30分～びっぴ園児とご家族、ぼろびっぴご家族

場所 バイブルメインホール

※大人 1000円/一人(当日現金支払い)

※子ども、学生は無料

※受付は14時～

※上映時間 1時間31分